

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年3月16日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人財団 すいめい会	介護老人保健施設 オレンジガーデン・ケアセンター	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り機器の導入に伴う 通信環境整備	① 眠り SCAN NN-1520 ② WiFi ルーターの設置インターネットインジティブ(SA-W2)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
① 令和3年3月10日 ② 令和3年2月22日	① 20台 ② 一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 2月22日見守りセンサー導入前の通信環境整備を実施。3月9日見守りセンサー20台を受領し、翌10日より利用を開始。設置先を1Fフロア10台、2Fフロア10台割り振り。共に職員が詰めているステーションから一番遠い居室周辺を選択する。設置日～7日間の使用状況下では設置ベッドでの転落事故の発生は起きていない。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 1Fフロア(49床)、2Fフロア(49床)の各20%(各10台)に導入した結果、導入ベッドにおいては設置日から1週間の間にベッド上からの転落事故は0件であった。 導入前と導入直後で1F・2Fの介護職員を対象としたアンケート結果では、多くの職員が体感として変化なく、導入前と比べ導入による業務負担軽減への期待感がおおよそ25%程度低下する結果となった。ヒアリングを併せて実施した結論として、一部のみの導入では業務量そのものは減少したとしても、未だ従来の業務内容を継続して実施していく必要がある事、導入日から評価日までが短く実感として負担軽減が感じられないとの事であった。また、導入日から日が浅い為、バイタルデータ収集とその活用という副次的導入効果は今回の評価時では感じられなかった。		

【介護ロボットの不都合な点】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

眠り SCAN(見守りセンサー)においては、事前に施設内の設置環境を整える必要が有る事が導入の大きな障害になると考えられる。センサー設置予定の居室をかき取る形で尚且つ電波強度(安定通信下限-70dBm)を確保した WiFi 環境の整備、施設で利用中のナースコールとの連動、この2点を考慮し事前にメーカーとよく話し合っって導入を検討しなければ見守りセンサーを入れたとしても施設が求める運用方法が 100%達成出来るわけではない。

眠り SCAN 其の物は主に夜間睡眠時における非接触バイタル検知型センサーであり、メーカーも説明書に記載をしているが、検知してから PC 上の視覚情報に反映するまでに一定程度(10~15 秒)時間がかかる。ベッド上での利用者状態の確認には併せてカメラを設置する事が望ましい事が新たに判ったので、この点も考慮した設置環境を構築しなければならない。

眠り SCAN を管理する PC に専用ソフト(眠り SCAN Viewer)を併せて導入する事になるが、介護ロボットが収集したバイタルデータをグラフ化表示してくれるが、工夫しなければ資料として印刷する事出来ない。

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3 年 3 月 3 / 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 苗場福祉会	介護老人保健施設 純恵の郷	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ②見守り機器の導入に伴う通信環境整備	① 眠り SCAN (NN-1520) ② Wi-Fi ルーターの設置	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年2月24日	① 16台 ② 一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・転落、転倒リスクのある方や夜間帯に目を覚ますことが多い方へ使用しています。 また、夜間に目を覚ますことが多い方へは、睡眠日誌として生活リズムの把握に活用しています。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・日中、夜間問わず使用し見守りを行っています。非装着型センサーのため、睡眠を妨げることなく見守りができ、解析プログラムにより睡眠と覚醒の判別、呼吸数の測定により、オムツ交換やトイレ誘導等の時間帯の見直しにも役立っています。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・全室への導入ではないため、圧力感知式のマットと分けて使用になっているため、状態に合わせてどちらの機種を優先させるかの判断が必要です。 ・データを印刷する際に半年や年間など、長い期間でもデータが取れると便利です。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団 高原会	介護老人保健施設 なんな苑	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り機器の導入に伴う通信環境整備	① 眠り SCAN NN-1520 ② WiFi 環境整備	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3年 3月 1日	① 10台 ② 一式	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ① 生活改善：利用者の睡眠状態と日中活動の状況把握 ② 事故防止：モニターによる安全な見守り ③ 体調管理：心拍数や呼吸数から体調変化の早期発見 ④ 看取り：現状の心拍・呼吸状態をモニターで観察 ⑤ 利用者の状態や記録の情報共有		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や、定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ① 夜間の排泄時間や日中の過ごし方等、現状態を把握することで生活改善のため検討が行いやすくなる。 ② 個々の身体状態に合わせてアラーム設定し、効率よく訪室することで徘徊やトイレのタイミングが把握でき危険回避と睡眠の質を改善し、精神の安定に繋げたい。 ③ 心拍数や呼吸数から体調変化（異常値や普段との比較）を早期に気づくことができる。 ④ 看取りの際、心拍・呼吸をモニターで確認できるため訪室する頻度や不安感が和らぎ職員の仕事・精神的負担が軽減できる。 ⑤ Wi-Fi環境が整い記録の入力がスムーズになり、複数の端末で情報の共有ができる。		
【介護ロボットの不都合な点】 ① 体重の少ない方へ使用した時、反応が無又は鈍いことがある。 実体重より軽く設定し反応が見られた。 ② 導入したばかりなので具体的な意見はなし		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年3月31日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
医療法人社団知己会	龍岡ケアセンター	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り ② 見守り機器の導入に伴う通信環境整備	① 眠りスキャンNN-1520 ② WiFi環境整備	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年3月4日	20台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 認知症フロアー中心にWiFi環境の整備を行った後、眠りスキャン20台を設置主に、徘徊による転倒のリスクが入所者様に使用。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 起き上がり時の動作や、ベッドからの離床時に反応し、入所者のベッドからの転落、転倒防止に役立っている。特に人員が手薄な夜間の時間帯は職員の業務負担の軽減にもなっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 個々の入所者の状態により、センサーの感知がずれることがある。 今後は入所者様の状態を見ながら設定する必要がある。		

(別紙2)

介護ロボット使用状況報告書

②実績報告時に提出

令和3年4月9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	九十九里ホーム飯倉駅前特別 養護老人ホームシオン	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN (NN-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年3月1日	12台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 24時間使用（日勤～夜勤業務まで）。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 日中、夜間の巡視の訪室回数の軽減。 体調不良者の状態の把握。 夜間の睡眠状態の把握。体調の変化の把握や早期発見。 利用者の状態によって使い分けられる点では満足している。		
【介護ロボットの不都合な点】 利用者の動作とモバイル機器検知の誤差。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年4月9日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人九十九里ホーム	九十九里ホーム飯倉駅前特別 養護老人ホームユニットケア シオン	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN (NN-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和3年3月1日	8台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 看取り期の方の体調変化を目視だけではなく、様々な数値から状況判断している。 夜間帯の利用者の睡眠状態の把握に使用している。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 定時の時間だけでなく、入眠しているか、浅眠・覚醒の状態を見ながら対応できるため、入所者の眠りを妨げずに介護ができる。		
【介護ロボットの不都合な点】 体動の検知に時間差が出てしまうことがあり、センサーマットの様に瞬時に検知することができない。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年4月10日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 旭悠会	特別養護老人ホーム 習志野偕生園 (従来型)	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
① 見守り	① 眠り SCAN NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3年 3月 24日	8台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 転倒リスクの高い利用者様に、眠り SCAN を夜間帯含め常時使用し、現場職が PC、その他端末で常に確認把握できるようにしている。		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ご対象者様が居室内においてベッド上でどのような状況なのか把握できるようになり、優先順位をつけて業務を行えるようになったため、双方にとって的確な介護サービスを提供できるようになった。また、同物品により心拍数及び呼吸数の把握を行うことができ、過去の履歴も閲覧できている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 <input type="checkbox"/> 若干のタイムラグがある。 <input type="checkbox"/> ベッドメイク等する際に、眠り SCAN の AC コードを誤って破損してしまいそう なため、電池式等の使い勝手もできるようになると良い。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3 年 4 月 9 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
株式会社 あさひガーデン	介護付有料老人ホーム あさひガーデン松戸	特定施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	見守り支援システム 眠りスキャ	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3 年 2 月 1 0 日	4 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 日中・夜間とも、歩行不安定・認知症利用者様の事故防止の為、各フロアで、iPad を使用して状況を確認、早期対応に活用。 また、終末期ケアの利用者様の状態確認。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 特に夜間業務の際、モニターにて状態確認が出来る為、効率よく業務を行うことが出来ます。また、終末期ケアの際に、状態確認がモニター上で可能な為職員の精神的負担の軽減に繋がります。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。 現在のところ、良好に作動しており、問題点等は御座いません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和 3年 3月 26日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 太陽会	介護老人保健施設 たいよう	介護老人保健施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠り SCAN (NN-1520)	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3年 3月 15日	20台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 日中及び夜間のベッド上での睡眠状況やバイタル情報の可視化を行っている。必要に応じて通知機能を活用することで、ご利用者の起上りや離床、呼吸数の乱れを検知し、ご利用者が安全に生活できるようなサポートをしている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 夜間のご利用者の覚醒状況を把握することで、排泄ケアの効率化を図ることができた。また、ご利用者の心拍、呼吸数を確認することで、コロナ渦の体調管理にも役立てることができている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 特に問題ありません。		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書 (参考例)

令和 3 年 3 月 31 日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人 緑風会	特別養護老人ホーム緑風園	特別養護老人ホーム
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守りセンサー	眠り SCAN	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3 年 3 月 25 日	6 台	
【介護ロボットの使用状況 (使用する業務・使用頻度等)】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。 ・夜間見守り時に訪室せずに、利用者様の状況を確認している ・呼吸数・心拍数のデータを日々スタッフと確認・共有している ・		
【介護ロボットの導入効果 (導入による業務改善状況等)】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者 (利用者) の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。 ・夜間訪室の優先順位をつけることができるので、時間の短縮につながっている ・体調変化があったときにお知らせ機能によって、早く気が付くことができる		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。 ・離床の判定が遅い ・ ・		

(別紙2)

②実績報告時に提出

介護ロボット使用状況報告書

令和3年3月29日

法人名	機器導入事業所名	施設の種別
社会福祉法人常盤会	特別養護老人ホームときわ園	介護老人福祉施設
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名	
見守り	眠りスキャン NN-1520	
介護ロボット導入時期	導入台数	
令和 3年 2月 25日	5 台	
【介護ロボットの使用状況（使用する業務・使用頻度等）】 ※日々の利用状況等が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。		
・看取り期対象の利用者に使用している。呼吸や脈拍数、睡眠状況の変化の把握を行う事ができ有効に利用できている。仕様の頻度としては、対象者の方には常時設置し、24時間の状態把握をしている。		
【介護ロボットの導入効果（導入による業務改善状況等）】 ※介護時間の短縮、直接・間接負担の軽減効果、介護従事者（利用者）の満足度等、日々の利用状況が確認できる日誌等の活用や定点観測情報に基づいて具体的に記載すること。		
・睡眠状況、呼吸数、脈拍数が可視化され、データ化されることにより、介護職員だけでなく様々な職種においての利用者状態把握の助けにつながっている。特に、看取り期の利用者の状態がわかるので、ご本人の状態にあわせたケアの展開や、ご家族への末期連絡のタイミングを計ることなどに役にたっている。		
【介護ロボットの不都合な点】 ※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。		
・脈や呼吸数が微弱な場合、エアマットを使用しているからなのか、データがとりきれない時がある。		
・居室の位置により、送受信状況の不具合が生じる時がある。		